

平成24年度 指定管理者施設管理評価シート

部 区民部 課 子育て支援課

施設名称		〔2〕 東京都台東区母子生活支援施設さくら荘				
指定管理者の名称		社会福祉法人愛隣団	指定期間	H22.4.1 ~ H27.3.31		
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	愛隣保育園、愛隣団隣保部（病後児保育、一時預かり保育など）					
(2)類似施設の管理実績	なし					
(3)経営状況	（23年度決算）経常収入 251,389,000円 経常支出 203,241,054円・施設整備等による支出 301,525円・財務活動による支出 58,000,000円 収支差額計 10,153,579円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区橋場1-35-7					
(2)設置目的	配偶者のない女子又はこれに準ずる事情にある女子及びその者の監護すべき児童を入所させて、これらの者を保護するとともに、自立の促進のためにその生活を支援し、あわせて退所した者について相談その他の援助を行うことを目的とする。					
(3)利用者	配偶者のいない女子及びその女子が監護すべき児童等					
(4)開館日・時間	通年、24時間					
(5)規模	鉄筋コンクリート3階建ての2・3階部分、床面積714.01㎡ 入所定数 10世帯					
(6)人員体制	常勤6名、常勤的非常勤1名					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1)委託事業	児童福祉法、並びに子どもの権利条約、DV防止法等の法令に基づき、生活自立のための支援を必要とする母子へ支援サービスを行う。母親への支援、児童への支援、その他退所に向けての支援、関係機関との連絡調整、苦情解決への取り組み等					
(2)自主事業	社会復帰等自立促進事業〔入所者と地域の交流(餅つき・清掃活動など)〕					
4. 予算決算の推移						
		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
予算	委託料	32,736,000	33,024,000	33,400,000	33,729,000	33,855,000
	料金収入等	0	0	0	0	0
	管理経費	32,736,000	33,024,000	33,400,000	33,729,000	33,855,000
決算	委託料	32,690,814	33,021,261	33,391,159	33,729,000	33,855,000
	料金収入等	584,631	465,622	463,502	458,209	207,872
	管理経費	33,275,445	33,486,883	33,854,661	34,187,209	34,062,872
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称		単位	20年度	21年度	22年度	23年度
室数		室	10	10	10	10
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値 (25年度)	21年度	22年度	23年度
延世帯数		世帯	85	110	91	61
延入居者数		人	170	256	207	146

7. 平成23年度評価結果に対する現在までの取組み				
<ul style="list-style-type: none"> ・ハローワーク・学校など関係機関との協力・情報共有については、それぞれのケースに合わせて行っている。 ・一人ひとり異なる問題を抱えた入所者に対し、それぞれに合わせた自立支援計画を立てている。 ・生活基盤が安定するよう、居室の清掃・整理整頓や食事の用意など、基礎的な支援を重点的に行っている。 				
8. 評価項目				
		3: 協定等の水準を上回っている。 2: 協定等の水準どおりである。 1: おおむね協定等の水準だが課題がある。	0: 協定等の水準を下回っている。 -: 評価対象外項目。	
評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 (b)サービス水準 (c)職員配置 (d)職員研修 (e)案内・接遇	[2] [2] [2] [2] [2]	(f)開館時間等の遵守 (g)自主事業の成果 (h)個人情報保護 (i)緊急時対応 (j)警備・防犯体制	[2] [2] [2] [2] [2]
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 (b)備品の管理 (c)清掃・衛生管理 (d)施設の修繕	[2] [2] [2] [2]	(e)危険箇所等の確認 (f)管理記録の作成・保存 (g)業務委託の事前承認 (h)省エネ・省資源・環境配慮	[2] [2] [2] [2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 (b)苦情・要望への対応と報告 (c)利用者数の目標達成	[2] [2] [-]	(d)利用しやすい環境整備 (e)関係団体・地域との関わり	[2] [2]
(4)歳入歳出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 (b)経費縮減のための取組み	[2] [2]	(c)収支計画の達成 (d)利用料等の徴収・管理	[2] [-]
9. 評価				
S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。 B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。 D (水準未滿) : 協定等の水準を満たしていない。				
評価の観点	評価	説明		
(1)事業の運営	A	365日・24時間体制で入所者をサポートする特殊な施設であるが、水準を満たした運営を行っている。入所者に対する毎日のサービスについても水準を満たしている。また退所者のフォローとして、電話・来所相談、学業支援などを行っている。		
(2)施設の維持管理	A	軽微な故障や破損については、指定管理者として速やかに対応している。		
(3)利用者の満足度	A	複雑で困難な問題を抱えた入所者に対し、一人ずつ入所者に合わせて異なる対応をしており、入所者の満足度は概ね高い。		
(4)歳入歳出	A	適切で継続的な処遇の為、人材育成と継続的な雇用が必要である。歳出削減の努力は認められる。		
10. 総合評価				
良好 妥当 要努力 要改善 不適		妥当		
		入所者の生活を安定させるため、子と一緒に食事の支度や洗濯を行う取組みなど、母だけでなく子どもの生活技術の向上に向けたきめ細やかなサービスを行っている。また、退所者に対する支援も着実に実施しており、全体的に、概ね適切な施設運営が行われている。		
11. 平成24年度評価結果に対する今後の対応				
入所者個々に合わせた、適切なサービスを行うなど、全般的に十分なサービスが提供されているが、今後もよりいっそう充実したサービスの提供に向けて努力していく。				